

ベネズエラ経済（2014年 7月）

1 経済概要

（1）政府の各種政策・統計

- マドゥーロ大統領は、当国経済の立直しを図るべく、経済戦争（la Ofensiva Economica）への対策強化、生産・供給体制是正、公正価格遵守の強化、また、財政改革及び上期（1-6月）外貨発給先企業の調査等の重要性を唱え、下期（7-12月）にかけて実施していく旨発表した。
- PDVSAプレスリリースは、マドゥーロ大統領が与党PSUV党大会において、国内石油製品販売価格を公正な水準に引上げる意向を示唆した旨発表した。
- 習近平中国国家主席は21～22日、ベネズエラを訪問し、エネルギー、財政、インフラ、鉱業、文化、農業、科学技術等の計38の分野における二国間協力、及び総額56億9,100万米ドルの融資で合意した。

（2）政府予算・財政・金融

- ベネズエラ中央銀行（BCV）と中国人民銀行は、統計手法や金融政策において協力関係を構築することで合意した。

（3）石油・天然ガス産業

- ラミーレス経済担当副大統領（石油鉱業大臣及びPDVSA総裁兼務）は、中国向け原油輸出額が、2005年の5.8億米ドルから、2013年には193.76億米ドルに達した旨述べた。

（4）自動車産業

- ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の6月の自動車生産台数が前年同月の5,766台に比し87.53%減の719台にとどまった旨発表した。

（5）その他産業

- グラテロル空輸海運大臣は、航空業界向けに適用を検討していたSICAD2の為替レート適用時期を延期する旨発表した。

（6）外貨発給状況

- 2014年1－6月におけるCENCOEXによる外貨発給額は、前年同期の117億米ドルに比し30%減となる82億米ドルであった。

2 経済の主な動き

(1) 政府等の各種政策・統計

ア 経済指標（実績）

●2014年第1四半期（1-3月）輸出入額

国家統計局によると、2014年第1四半期の輸入額は前年同期比23%減となる92.1億米ドルとなった。内、政府による輸入は42%相当であった。

一方、2014年第1四半期の非原油分野における輸出額は、前年同期比45.5%増の7.69億米ドルとなった。

(4日付エル・ユニベルサル紙, 14日, 15日付エル・ムンド紙)

●インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）及び国家統計局の非公式情報によると、6月のインフレ率は5.5%となり、直近12ヶ月の累積インフレ率が、62.1%に達した。

(15日付エル・ナシオナル紙)

●食料バスケット

労働者情報分析センター（CENDA: El Centro de Documentación y Analisis para los Trabajadores）によると、4月、5月、及び6月の食糧バスケット価格はそれぞれ7,581ボリバル、8,220ボリバル、8,561ボリバルとなった。この結果、直近12ヶ月では74.9%の増加となった。

(11日, 22日付エル・ユニベルサル紙)

イ 経済指標（見通し）

●2014年GDP成長率

・バークレイズ・キャピタルは、2014年第1四半期のベネズエラのGDP成長率がマイナス5%を記録、年成長率をマイナス2.9%とする予測を発表した。

(1日付エル・ユニベルサル紙)

・ベネズエラ工業連盟（Conindustria）は、2014年のベネズエラGDP成長率をマイナス1.5%、インフレ率を75.2%とする予測を発表した。

(9日付エル・ユニベルサル紙)

・Ecoanalitica社は、2014年第1四半期のベネズエラGDP成長率がマイナス3%を記録、年成長率をマイナス2.5%とする予測を発表した。

(8月1日付エル・ユニベルサル紙)

●為替レート

・バークレイズ・キャピタルは、2014年第4四半期に為替レートが一本化され、1米ドル=25ボリバルとなるとの予測を発表した。

(31日付エル・ユニベルサル紙)

・Ecoanalitica社は、2014年の政府の為替政策として、①SICAD2を廃止し1米ド

ル＝25ボリバルへ一本化，②第3国における為替取引を合法化し複数為替レートを維持，③SICAD1にて1米ドル＝15ボリバル，及びSICAD2を維持等の予測を発表した。

(8月1日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 各種政策・規制・規則

●公務員向け賃金引上げ

官報40336号は，公務員の賃金を5月1日へ遡り43%引き上げる旨公布した。

(5日付エル・ユニベルサル紙)

●マドゥーロ大統領による経済政策の発表

マドゥーロ大統領は，当国経済の立直しを図るべく，経済戦争(la Ofensiva Economica)への対策強化，生産・供給体制是正，公正価格遵守の強化，また，財政改革及び上期(1-6月)外貨発給先企業の調査等の重要性を唱え，下期(7-12月)にかけて実施していく旨発表した。

また，7月23日から8月7日にかけて経済関連省庁の効率的な運営を行うための構造改革調査を実施，8月11日までに構造改革案を策定し，8月15日までにPSUV内の調整を完了するとの計画を併せて発表した。

(16日付エル・ユニベルサル紙，エル・ナショナル紙，エル・ムント紙)

●マドゥーロ大統領によるガソリン価格値上げ示唆

PDVSAプレスリリースは，マドゥーロ大統領が与党PSUV党大会において，国内石油製品販売価格を公正な水準に引上げる意向を示唆，また，国内ガス供給システムの見直し等のため担当者を任命した旨発表した。

また，マドゥーロ大統領によると，ガソリン価格引上げによる400億ボリバルから1,000億ボリバルの増収分を社会基金の管理下に置き，住宅ミッション向けに20%，大学教育システム向けに20%，高齢者支援ミッション向けに20%，祖国治安ミッション向けに20%，その他サービスに20%振り当てる旨述べた。

(31日付PDVSAプレスリリース，8月1日付エル・ユニベルサル紙，エル・ナショナル紙，エル・ムント紙)

エ 組織・人事

●グアジャナ開発公社総裁

官報40448号によると，グアジャナ開発公社総裁をオソリオ大統領府大臣からホセ・ノグエラ・ピエトリ(Jose Noguera Pietri)中將へ交替させる旨公布した。

(7日付官報40448号，及び9日付エル・ムント紙)

●経済関連省庁改造

アレアサ副大統領は，経済関連省庁の見直しを8月7日までに実施し，同11日に結果を発表する旨述べた。

(23日付ウルティマス・ナシオナル紙)

オ 貿易統計

●対中国輸入額

国家統計局によると、2014年第1四半期(1-3月)の中国からの輸入額は、前年同期の21.63億米ドルに比し、12.10億米ドルとなった。

なお、中国からの輸入額は1998年の26.7百万米ドルから2013年には76億米ドルに達している。

(14日付エル・ムント紙, 22日付エル・ナシオナル紙)

●対ニカラグア輸入額

国家統計局によると、2014年第1四半期のニカラグアからの輸入額は、前年同期の93百万米ドルに比し、191百万米ドルとなった。

(15日付エル・ムント紙)

カ 政府ミッション進捗

●住宅ミッション

住宅省によると、1-6月の住宅建設戸数は前年同期の53,025戸に比し6%減の49,804戸となった。

(10日付エル・ユニベルサル紙)

キ 対外関係

●パナマとの外交関係再開

アレアサ副大統領は、パナマとの外交関係を再開し、債務認定された部分の支払いを宣言するとともに、パナマ渡航者向けの外貨発給も再開する旨併せ発表した。

(2日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシオナル紙, エル・ムント紙)

●習近平中国国家主席の訪問

習近平中国国家主席は20~21日、ベネズエラを訪問し、エネルギー、財政、インフラ、鉱業、文化、農業、科学技術等の計38の分野における二国間協力、及び総額56億9,100万米ドルの融資で合意した。

(22日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシオナル紙, エル・ムント紙)

●メルコスール

- ・27日、メルコスール企業フォーラムが開催され、ラテンアメリカ・カリブ諸国から約250社が参加した。

- ・28日、メルコスール共同市場理事会(CMC)が開催され、メルコスール・ALBA・ペトロカリベ・カリコム、及び欧州等との補完経済圏の創出等を協議した。

- ・29日、第46回メルコスール首脳会合が開催され、議長国がベネズエラからアル

ゼンチンへ移され、①ALBA・ペトロカリベ、カリコムと連繋した経済圏の創出、②南米銀行の機能強化、③南米銀行とBRICS銀行との協業関係の重要性、④中米及び米国国境を主とした移民児童及び青年の人権問題への懸念、⑤チャベス・ベネズエラ前大統領及びキルチネル・アルゼンチン前大統領の栄誉、⑥アルゼンチンのソブリン債再編への支援、⑦イスラエルによるガザ地区侵攻への非難等の内容が盛り込まれた共同声明が発表された。

(28日付PDVSAプレスリリース、28日、30日付外務省プレスリリース)

(2) 政府予算・財政・金融

ア 税収

租税監督庁 (SENIAT) によると、7月の徴税額は前年比89.8%増の422億ボリバルとなった。

(8月18日付SENIATプレスリリース)

イ 追加予算

7月の国会 (財務・経済開発委員会) による追加予算承認額は、835.93億ボリバルとなった。

(7月8日、15日、17日、22日、23日付官報40449号、6134号、40454号、6136号、40454号、40456号、40459号、40460号)

ウ 政府債務残高

● 2013年末時点の政府債務残高

Ecoanalitica社は、2013年末時点のPDVSAを含めた政府債務残高は、1999年末時点の284億米ドルから1,587億米ドルに増加したとする分析を発表した。

なお、債務元利支払い額は、1999年に76億米ドルであったものが、2014年には141億米ドルへ増加している旨併せ発表した。

(19日付エル・ユニベルサル紙)

エ 通貨供給量

ベネズエラ中央銀行 (BCV) のデータによると、2014年1月から6月末までの通貨供給量 (M2) は、年初来20%増加し1兆4,460億ボリバルに達した。

(21日付エル・ムンド紙)

オ 金利動向

ベネズエラ中央銀行 (BCV) によると、7月22日時点における各種貸出金利加重平均は、18.3%となった。

なお、支払準備率は21.5%となっている。

(29日付エル・ユニバーサル紙)

カ ベネズエラ中央銀行（BCV）によるベネズエラ石油公社（PDVSA）財政支援額

BCVによると、2014年6月末時点におけるPDVSA向け財政支援額は直近12ヶ月で164%増となる4,815億ボリバルに達している。

(12日付エル・ユニバーサル紙)

キ ベネズエラ中央銀行（BCV）と中国人民銀行の合意

BCVと中国人民銀行は、統計手法や金融政策において協力関係構築で合意した。

(19日付ウレイヤス・ナシマス紙)

(3) 石油・天然ガス産業

ア 原油生産・精製・輸出・輸入動向

●生産量

・ベネズエラ産原油の世界及びOPECに占める割合は、それぞれ1998年の4.8%、11.9%から、2013年には、2.6%、7.8%へ減少した。

(9日付エル・ムント紙)

イ 対外取引

●対中国

ラミーレス経済担当副大統領（石油鉱業大臣及びPDVSA 総裁兼務）によると、中国向け原油輸出額は、2005年の5.8億米ドルから、2013年には193.76億米ドルに達した旨述べた。なお、現在の中国向け原油輸出量は日量52.4万バレルに達している。

(22日付エル・ムント紙)

●対ロシア

PDVSA プレスリリースは、セーチン・露ロスネフチ総裁が当国を訪問し、ラミーレス石油鉱業大臣兼PDVSA 総裁等と会合を持ち、PDVSA とロスネフチの間に2013年に設立に至った合併企業、Petrovictoria に対する全11億米ドルの資本払い込みのうち、9月1日までに初回分として4.4億米ドルの払い込み実施をはじめ、ロシアとベネズエラにおける二国間協力関係強化の一環として、オリノコベルト地帯の開発、及び海底資源探鉱の促進等で合意に至った旨発表した。

(29日付PDVSA プレスリリース)

ウ その他

●露ロスネフチによるWeatherford資産買取

露ロスネフチは、ベネズエラにおいて米Weatherford社が保有する油井及びそのサービスに関わる資産を買取ること合意に至った旨発表した。

(14日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシナル紙)

●CITGOによる手形発行

PDVSA子会社であるCITGOは、借換え及びPDVSA向け配当原資確保を目的として、650百万米ドルの手形発行を検討している旨発表した。

(17日付エル・ユニベルサル紙)

●投資銀行によるPDVSA子会社への買収提案

ロイター通信によると、エネルギー分野専門調査会社であるアーガス・メディアは、石油鉱業省担当者からの情報として、ベネズエラ政府がゴールドマン・サックス、J.P. モルガン、及びドイツ銀行等からPDVSAの子会社であるCITGOの買収提案を受けていること、また、PDVSAがドイツ銀行を候補先として、Chalmette製油会社の持ち分50%の売却を検討している旨報じた。

(26日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシナル紙)

(4) 自動車産業

ア 生産・組立/販売台数

ベネズエラ自動車会議所 (CAVENEZ) は、加盟全7社の6月の自動車生産台数が前年同月の5,766台に比し87.53%減の719台にとどまった旨発表した。

他方で、6月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、前年同月に比しそれぞれ85.9%減の1,080台、99.5%減の9台となった。

この結果、1-6月の自動車生産台数、国内生産車、及び輸入車の国内販売台数は、それぞれ前年同月比83.31%減の6,161台、77.4%減の8,173台、99.7%減の63台となった。

(7日付CAVENEZ発表)

イ 中国製動向

●中国宇通各車によるバス生産・組立計画

中国宇通各車 (YUTONG) は、年間3,000台のバス生産・組立計画を発表した。なお、初期計画においては、国内市場向けのみならず、ラテンアメリカ向け輸出も視野に入れている。

(14日付ウレヤス・ナシナル紙)

●中国奇瑞 (CHERY) 汽車輸出計画

中国奇瑞 (CHERY) 汽車は、当初ベネズエラと中国両政府により合意に至った10,000台から3,000台増となる13,000台を輸出する計画を発表した。

(31 日付エル・ユニベルサル紙)

●World Supplies による販売提携

World Supplies は、ベネズエラ政府及び国家警備軍貯蓄金庫との間で、永源 (Jonway) 汽車、一汽海馬 (Haima) 汽車、広州 (Gac) 汽車、及び長安 (Changan) 汽車等とベネズエラにおける販売提携の合意に至った旨発表した。

(8 月 2 日付エル・ユニベルサル紙, ウルティマス・ノティシア紙)

ウ 2014 年上期 (1 - 6 月) 二輪車市場

二輪産業・生産・組立協会 (AIFEM) によると、2014 年上期の二輪車生産・組立台数は前年同期の 210,852 台から 58% 減となる 88,456 台となった。

(28 日付エル・ユニベルサル紙)

(5) その他

ア 航空

●SICAD 2 の適用延期

グラテロル空輸海運大臣は、航空業界向けに適用を検討していた SICAD 2 の為替レートの適用時期を延期する旨発表した。

(2 日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナショナル紙, エル・ムント紙)

●2014 年上期 (1 - 6 月) 国際線航空券販売額

国際航空運送協会 (IATA) によると、上期の国際線航空券販売額は、前年同期の 32 億米ドルに比し 9% 減となる 11 億米ドルとなった。

(30 日付エル・ムント紙)

イ 通信

官報 40445 号の公布により、ベネズエラ国営通信会社 (CANTV) は国際電話料金を 16% ~ 500% 引き上げた。

(4 日付エル・ナショナル紙, エル・ムント紙)

ウ 電力

チャコン電力大臣は、8 月中に最適で効率的な電力サービス供給のため全国を 5 つの地域に分け対策を講じる旨発表した。

(25 日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナショナル紙)

(6) 外貨発給状況

ア SICAD

●SICAD 1

・ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、7月のSICAD 1による合計4度の競売実績は、総額8億1,317万4,663.52米ドルであった。

（BCV/CENCOEXプレスリリース）

・CENCOEXによると、本年のSICAD 1の競売全19回における外貨割当額は、36.08億米ドルとなった。内、28%相当額はベネズエラ貿易公社（CORPOVEX）向けに割当てられている。

（30日付エル・ムンド紙）

●SICAD2

・Ecoanalitica社は、3月24日から運用開始されたSICAD 2による外貨供給額が、6月16日までに総額27.26億に達し、当国へ輸入される物資に適用される加重平均為替レートは1米ドル＝21.6ボリバルとの分析結果を発表した。

（4日付エル・ムンド紙）

・Ecoanalitica社は、6月及び7月のSICAD 2による外貨供給額が、日額平均でそれぞれ42.5百万米ドル、38百万米ドルとの分析結果を発表した。

（15日付エル・ナショナル紙）

・ベネズエラ中央銀行（BCV）は、米ドルの最低兌換金額を1,000米ドルとする様に要件を修正した。

（27日付エル・ウニベルサル紙、エル・ナショナル紙）

イ 航空業界向け外貨発給承認

マドゥーロ大統領は、2012年から2014年に航空業界が計上し外貨未発給となっていた案件に対し、総額186百万米ドルの発給を承認した旨発表した。

（4日付エル・ウニベルサル紙）

ウ 2014年1－6月CENCOEXによる外貨発給額

2014年1－6月におけるCENCOEXによる外貨発給額は、前年同期の117億米ドルに比し30%減となる82億米ドルであった。

（18日付エル・ウニベルサル紙）